

寸法安定性

マンションの開放廊下やプールサイドなどで、床材を長期間ご使用いただくためには、製品の寸法安定性は重要な性能項目の一つです。

試験方法

JIS A 1454(高分子系張り床材試験方法:加熱による長さ及び幅変化試験)準拠
300mm×300mmのサンプルを80℃のかくはん機付恒温器に6時間保った後取り出し、室内に1時間静置し、試験前の長さに対する変化率を測定します。

試験結果

※数値は試験値であり、保証値ではありません。
※試験結果は予告なく変更される場合があります。

	長さ方向(%)	幅方向(%)
タキストロン	-0.05~-0.02	-0.05~-0.02
他社 防滑性ビニル床シート(織布積層タイプ)	-0.93	-0.13

性能規格値-2.0以上、2.0以下

タキストロンは製品の中間層にガラスマットを積層しているため、織布積層タイプと比べて、加熱による寸法変化が少なく、長期間使用後の継目の目地すきが生じにくい製品構造です。

耐熱性

給食センター、厨房等の使用環境においては熱湯の吹きこぼれや、加熱された油が床面におちる場合があります、使用される床材は十分な耐熱性が必要となります。ネオセーフ抗菌は耐熱性の要求される環境においても優れた耐久性を有しています。

試験方法

<自社法>

熱湯、加熱された油をネオセーフ抗菌表層に滴下し、表層の変化、下地からの浮きを確認します。

試験結果

※当社基準による評価
※数値は試験値であり、保証値ではありません。
※試験結果は予告なく変更される場合があります。

試験方法	温度	繰り返し回数	表面の状態	下地 (スレート板との接着状態)
熱湯の繰り返し浸漬 (200ml)	熱湯 95℃	100回	変化なし	膨れ、剥がれ無し
加熱油の滴下 (20ml)	植物油 200℃	20回	変化なし	膨れ、剥がれ無し

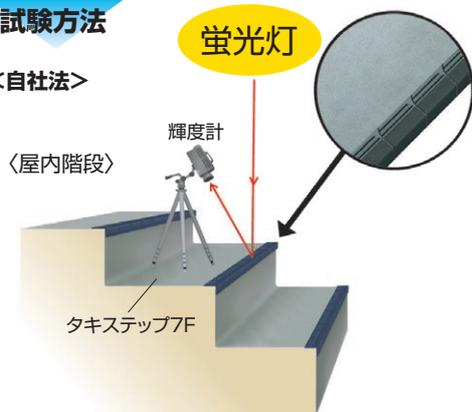
※回転釜付近の床面など、大量の熱湯が直接かかる場所では使用できません。

視認性(輝度比)

教育施設屋内階段の照度は、一般階段では150(lx)以上、非常階段では50(lx)以上と規定されています。(JIS Z 9110照度基準より) タキステップ7Fは、これらの照度条件下における視認性を確保するために、段鼻と踏み面に色相差を設けて、輝度比が2.0以上となるように設計しています。

試験方法

<自社法>



試験結果

※輝度比は【踏み面/段鼻】にて算出 ※当社基準による評価
※数値は試験値であり、保証値ではありません。
※数値は予告なく変更される場合があります。

一般階段の照度条件(150lx)

品番	輝度(mcd/m ²)		輝度比
	踏み面	段鼻	
7F-146	22.7	7.1	3.2
7F-346	27.3	7.4	3.7
7F-446	15.9	4.5	3.5
7F-846	18.8	7.1	2.6
7F-946	16.5	4.8	3.5

非常階段の照度条件(50lx)

品番	輝度(mcd/m ²)		輝度比
	踏み面	段鼻	
7F-146	5.5	2.0	2.7
7F-346	6.8	2.1	3.3
7F-446	4.0	1.4	2.9
7F-846	4.9	2.0	2.5
7F-946	4.0	1.5	2.7

試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・
副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス
注意
P.333